

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習や運動、SST等の様々なプログラムの実践	子どもの発達状況や特性に合わせたプログラムの立案をおこないます。	保護者の要望を取り入れ、子どもたちが更に楽しめるよう創意工夫します。
2	自主性を尊重した療育	自らの判断で行動できるような支援をおこないます。 自主性が乏しく難しい子どもにはやる気や行動力が出るような支援、声掛けなどをおこないます。	どうすれば自主性が育まれるのかを、子どもの発達状況、課題や特性を考慮して対応します。
3	保護者との関係性	連絡帳や送迎時でのコミュニケーションで、保護者の悩みに対する相談に応じ、スタッフ間で情報を共有します。	学校や相談支援事業所等との連携を図り、問題が発生すれば、速やかに解決に向けた対応をおこないます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備等の老朽化、送迎車の経年劣化、事業所内の汚れ	送迎車の点検や事業所内の壁の張り替えが必要	送迎車の修理及び買い替え、定期点検や洗車、掃除、壁紙の張り替え等を検討、実施します。
2	安全配慮、駐車場に向かう際の安全確保	駐車場への道路が狭く交通量が多い時がある	子どもから離れない、目を離さない、などの十分な安全確認を行います。
3			